

## 交換留学帰国報告書

記入 | 2020 年 5 月  
所属 & 学年 | 経済学部 4 年  
卒業予定 | 2021 年 3 月

留学先大学	ガジャマダ大学
留学先国	インドネシア
留学期間	約 8 ヶ月 (3 年次に留学)
留学開始 - 終了	2019 年 8 月 7 日 - 2020 年 3 月 25 日

## A. 留学に至った経緯や留学準備について

①留学する大学や国、プログラムを決めた理由を教えてください。

途上国の発展にビジネスで貢献したいという思いがあり、今まさに急速に発展している国に長期滞在してみたかったのでインドネシアを留学先として選びました。ガジャマダ大学はインドネシア最古の大学であり、国内トップレベルを誇る大学です。経済学部は留学生が多く、そのほとんどがヨーロッパからの留学生です。ガジャマダ大学のあるジョグジャカルタは学生の街であり、遺跡や文化の残る古都で穏やかな街だと言われているのも、インドネシアの中でこの大学を選んだ理由です。

②留学を志したきっかけや経緯、動機などについて教えてください。

高校の時から長期留学をしてみたいと考えていました。名大の授業を受ける中で、自分のもっと学びたいことがはっきりしてきたので交換留学に応募しました。

③留学前の海外渡航経験があれば教えてください。

渡航先	渡航時の学年	目的 & 期間など
シンガポール	1 年	経済学部の GSID プログラム、10 日間

④実際に留学準備を始めたのは応募した時期からどのぐらい前でしたか？

大学 2 年の夏休みの IELTS 対策講座の少し前からです。

⑤海外留学室の個別相談を利用した方は相談回数や相談内容、参考になったことを教えてください（利用していない方は、利用しなかった理由や状況など）。

3 回ほど利用（留学先選び、語学スコア、留学先の大学の手続き等）  
語学スコアがなかなか達成できず相談させていただきました。ビザや留学先の大学の諸々の手続きについてもトラブルがあり助けていただきました。

## B. 留学前の語学対策や単位などについて

①留学前の語学対策、TOEFL などの受験回数などについて教えてください。

IELTS 3 回

## ②単位取得、単位互換、教職履修などに関するアドバイスをお願いします。

多くの授業でスコアは、中間・最終テスト、中間・最終レポート、グループ課題、出席、毎週の課題等で決められ、スコア配分は授業により異なりますが細かいです。その為テストで一回失敗したりしても他でカバー出来るので単位取得はさほど難しくないと思います。私は体調不良で最終テストを1つ休みましたが、そのテストのスコアは全体の中でパーセンテージが低かったので大丈夫でした。

単位互換はしてないです。

## C. 授業や勉強について

## ①留学先で履修した科目と科目コード（例：MKG3001 Introduction to Marketing）、時間数、形態、授業の内容、履修方法、などについて教えてください。

シラバスはほとんどないです。私は先生の経歴を調べたりしました。履修登録は授業の始まる3日程前に早い者勝ちで登録しました。もし登録に漏れても、大抵の場合は申請書を出せば受理されると思います。2期目は授業開始1週目に授業を受けてみて履修修正可能でした。すべて3単位です。週1回、1回2時間半の授業で、授業数はトータルでテストを除き14回でした。クラスの人数は授業によりけりですが、私の受けていた授業は少ないもので10人、多くて50人程だったと思います。

## 【一期目】

## Business Planning

グループごとにビジネスプランをたてます。最終的にはクラスでプレゼンして融資を受けられるかをクラスメイトに判断してもらいます。ファイナンシャルプランやオペレーションプラン等、毎回提出があります。主にグループでの活動なのでグループメンバーと上手くやれるかが大切だと思います。レクチャーはほとんどなく、毎回どこかのグループのプレゼンを聞いてディスカッションです。

## International Business

授業は小テスト+レクチャーで、中間が個人レポート、最終プレゼンはグループ、テストは中間、期末ともに記述です。企業がグローバル展開する上での問題、文化の違いによる障壁や経営戦略について学びました。授業が急にキャンセルになったり先生が来ないことがよくありました。

## Business Communication and Negotiation

前半のコミュニケーションと後半のネゴシエーションで先生が変わります。コミュニケーションでは理論を学び、個人のプレゼンテーション、テストとグループレポートがありました。交渉では本に基づきレクチャーが進められ、グループプレゼンとエッセイでした。受講者は11人と少なく現地学生：留学生＝8：4で、授業内で全員でのディスカッションが活発でした。ビジネスに必要なプレゼン能力や交渉術を学ぶことができ、どちらもとても有益だと思いました。

## Indonesian Value and Ideology

毎回リーディングとそのレビューを書き、グループプレゼンとエッセイが2回あります。リーディング内容がインドネシアの近代史やイスラム教の歴史なのでかなり難しいです。でも文化を理解するためにはとても良い授業だと思います。

## 【二期目】

すべての授業において新型コロナウイルスの影響で中間テストはなくなり、後半はオンライン授業に移行しました。授業期間も1か月短縮されました。

## Consumer Behavior

授業は本に基づき、章ごとにグループプレゼンとディスカッション。グループプレゼン、個人ペーパー、グループペーパー、テストがありました。消費者行動の基礎的なことが学べます。

#### Indonesian Language and Culture

毎回リーディングとそのレビューを書き、グループプレゼンとエッセイがあります。Indonesian Language ですがインドネシア語を学ぶわけではなく、インドネシアの社会問題について議論します。インドネシアの文化の背景、価値観を知ることができ、日本についてもよく質問されるので議論に参加しやすかったです。

#### Economics Development I

小テスト、レクチャー、フィッシュボールディスカッションという流れで授業が進められました。最終ペーパーが課せられます。経済発展についての理論を学び、世界の社会問題についてリーディングに基づいて議論しました。個人的には一番学びの多い授業でした。

#### Environmental Economics

プレゼンとレクチャーでファイナルペーパーの提出がありました。経済政策と環境の関係を学びました。先生が途中で入院してしまったので授業はほとんどなかったです。

### ②授業を受けるにあたって、心掛けていたこと、どんな努力や工夫をしていましたか？

グループではもちろん、全体でのディスカッションが多いので積極的に発言するように心がけました。議論に参加できるように授業内容を予習し、自分の意見をしっかり言えるように準備して授業に臨むようにしました。

### ③学習面で困ったことはありましたか？どのように解決しましたか？

授業が急にキャンセルになったり先生が来なかったりすることはよくありました。また、グループワークではメンバーが消極的であったり、文化的性格の違いから課題に着手するのが直前であったりしてすべての資料を一人で作ったこともありました。そこで、意見をもらえるように自分の意見を詳しく説明して理解してもらえるように努めたり、期限を設けて仕事を割り振ったりしました。

## D. 大学生活について教えてください。

### ①現地の雰囲気や大学の校風について教えてください。

約 13000 の島々、約 300 の民族、約 700 の言語からなるインドネシア。ガジャマダ大学はジャワ島のジョグジャカルタという町にあります。カフェや飲食店が多く、モールもあり、学生の街なので治安はいいです。イスラム教ですがお酒や豚肉を食べられるところもあります。学内では英語、学外ではインドネシア語を使っていました。現地学生のほとんどはインターナショナルスクール出身で英語が堪能です。アルバイトをしている人はほとんどおらず、勉強熱心です。

### ②ネット環境、施設、周辺環境などハード面について教えてください。

住まいも大学も Wi-Fi 環境は良かったです。雨季はよく停電するので、そういう時はカフェに行き課題をしたりしました。交通手段は主にタクシーバイクで grab や go-jek のアプリで呼びます。

現地で口座を作るには KITAS が必要で、私は作りませんでした。クレジットやキャッシュレス決済もありますが現金が主です。

### ③留学先でどのようにして現地の学生と交流を深めましたか（具体的をお願いします）？

オーケストラやアドベンチャー(山でロッククライミングやキャンプをする)のサークルに行ったりして交友関係を広げました。バトミントンのコミュニティにも参加していて、週に 1 回、忙しくても行くようにしていました。日本語学科の子とは仲良くなりやすかったです。授業終わりにお昼を一緒に食べたり、カフェに行ったり、自分からご飯に誘うようにしました。

④余暇の過ごし方（授業後や長期休暇など）について教えてください。

授業後は授業の課題、インドネシア語の勉強、ムエタイジム、バドミントン、カフェ巡り等をしていました。また、旅行にたくさん行きました。東南アジアやインドネシアの島々に行きました。インドネシアの自然を満喫できるのも留学の楽しみの一つだと思います。

## E. 健康管理、保険、予防接種など

①健康管理あるいは衛生面について注意していたことはありますか？

水には気を付けていましたが他には特にありません。一度、腸チフスに罹りました。辛い物が苦手であり食べなかったというのかもしれませんが、私は幸いにも一度の腸チフス以外はお腹を壊すことはありませんでした。

②留学中に病院へ通った経験の有無、医療費などについて教えてください。

腸チフスに罹り病院に行きました。この病気は入院することが多いようですが、私は処方箋のみでした。薬が強くて治りが早かったと思います。医療費は 5000 円程でした。

③加入した保険の種類について教えてください。

留学先の大学が用意した「キャンパス保険」への強制加入

\* キャンパス保険でカバーされない部分は、個人保険に加入も含む

個人の保険のみ

キャンパス保険と個人の保険の二重加入

④留学するにあたって、予防接種は必要でしたか？

はい（種類：A 型肝炎、B 型肝炎、狂犬病、麻しん風疹、破傷風、日本脳炎）

いいえ

## F. 住居、食事、マナーなどについて

①留学中の滞在先について教えてください。

形態	<input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> 下宿 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他（ ）
何人部屋	（ 1 ）人

②生活（住居、食生活、服装など）や習慣の違い（マナー、対人関係）、安全面などについて、困ったこと、気をつけていたことがあれば教えてください。

留学生にはバディといって現地学生がついてくれます。バディがしっかりしていれば渡航前にも連絡が取れるので大学生活について相談に乗ってくれます。

住居は現地に着いてから探して決めます。寮もありますが、コスと呼ばれる下宿に住んでいる人が多いです。Wi-Fi 環境、温水が出るか、クーラーがついているか、料金などの点に気をつけるといいと思います。家賃は毎月初めに大家さんに現金で手渡していました。

食生活はほとんど外食で、安く済みます。

授業の服装について、襟付きのものという規定があります。露出の多いものやサンダルは禁止なので気を付けてください。

洗濯は洗濯屋さんに出して洗ってもらいます。

外国人にはそれほど厳しくないですが、大半の人がイスラム教だということを知っていると頭に入れておいた方が良いでしょう。

- ③日本から持参するとよいもの、または持参しなくてもよかったと思うものは何でしょうか。

持参してよかったものは、虫除けスプレー、雨合羽です。  
常夏ですが山に行ったりすると寒いので、遊びに行く予定があるのならトレーナーなどの防寒着も持って行った方が良いと思います。

- ④参考となる留学先国の情報（出版物、web サイト）を教えてください。

## G. 留学費用について

- ①留学費用や支出の管理などに関してアドバイスがあれば教えてください。

物価は安いですがそれに甘んじていると意外と使ってしまうので、一日に使っていい上限を決めていました。

- ②奨学金はもらっていましたか？

はい （奨学金名：JASSO 支給額：7万 円）

いいえ

- ③差し支えなければおおよその留学費用を教えてください。\*内容の費目は自由に変えてください。

内容	金額	備考
渡航費	約 10 万円	往復
保険代	約 18 万円	8ヶ月分
予防接種・ビザ代	約 10 万円	予防接種代です。 ビザはトータルでかかった費用は忘れました。日本で手続きできず、シンガポールに行きました。
住居費	約 1.5 万円/月	私は節約したくて安いところに住んでいましたが日本人は大体 2-3 万円のところに住んでいます。
食費	約 3 万円/月	
教科書代		e-book をダウンロードしていました。

その他、電気代、携帯代、交通費、ランドリー代が日常的にかかっていました。

## F. 今後の進路や目標、就職活動について

- ①卒業後の進路（進学、就職、その他）について教えてください。

進学

就職

その他（ ）

- ②今後の進路や目標があれば教えてください。また留学の前後で、進路や目標に対しての考え方や気持ちの変化があれば教えてください。

途上国の発展にビジネスで貢献したいという思いに変わりはないです。インドネシアの様々な所に行き、美しい自然を体感する中でこれを壊さずに経済発展させるすべはないかと考えています。

- ③留学中に就職活動を行った方は、具体的なエントリー、一時帰国の時期、感想などを教えてください。海外留学生用の就職活動を受けた場合はそれに関する情報もお願いします。

長期休暇の間にジャカルタで短期のインターンを受け入れてもらったり、部活でお世話になっている企業の人事の方にエントリーシートを見て頂いたりしました。2期目が始まる前には進みたい業界や企業はある程度定めていました。新型コロナウイルスにより留学中断もあり得ると思い、滞在中の3月にエントリーをしました。大学院進学とも迷っており、まだ決まっていますが、帰国後、ガジャマダ大学のオンライン授業を受けながら就活のことを考えるのは少し大変でした。

## F.留学を終えて感じること

- ①留学を終えて今の率直な気持ちや感想、印象に残っていることなど教えてください。

インドネシア・ジョグジャカルタを留学先として選んで本当に良かったと思っています。新型コロナウイルスにより予定より3か月早い帰国になってしまい、まだまだやりたいことや経験したいことはたくさんありました。しかし、私は2月末にインドネシアで初感染者が出てから、これは帰国になるかもしれないと覚悟を持って過ごしたので帰国までの一か月は本当に充実したものにすることができました。インドネシアでの生活は家事といってもほとんどが外食であったり、洗濯は下宿ではできずランドリーに持っていくだけでアイロンがけまでしてくれるので掃除くらいしかしませんでした。だから時間がたくさんあり(日本で私が大学、部活、バイトとかなり忙しい生活を送っていたというのもあると思いますが)、時には時間がありすぎて自分の留学生活やいろいろな文化、価値観について考え過ぎて塞ぎ込んでしまうこともありましたが、いろんな場所に出かけ、いろんな人と出会い、言葉には言い表せない異文化理解の難しさやインドネシアの美しさを感じることができました。

- ②留学したことで、何がどのように変わったと思いますか？

自分の長所や短所について知ることができました。コミュニケーションにおいて自分の殻を破ることができたと感じています。

- ③現在、留学を考えている学生へのメッセージをお願いします。

インドネシアを留学先として選ぶ人は少ないので情報が多くなく、不安を抱く人は多いと思います。私も渡航直前は名大のテストも重なりかなりバタバタして不安を抱えながら出国しました。そんな方たちにこの留学報告書が少しでも助けになればいいなと思っています。留学支援室の方を通じて連絡を頂ければいろいろお話できると思います。

UGMには名大からの留学生は少ないようですが日本人は多く在学しています。私の留学前は学部問わず全体で6名だったそうですが、その後の学期は30名ほどいました。そのほとんどはINCLUSというbahasa Indonesiaを学ぶために留学しています。ジョグジャで仕事をしている日本人は少ないですが日本人のコミュニティもあるので、特に病気など何かあった時も安心してください。

事務的な話になりますが、すでにUGMへの留学が決まった人はビザや授業についての連絡がなくて、渡航日を決められなかったりしているかもしれません。ビザは本当にギリギリです。授業、住居は現地に行ってから決めます。UGM全体のオフィスのOIAはあまりしっかりしていないので経済学部の方はFEB(IUP)のオフィスを頼ってみると良いと思います。対応に慣れていきますし、とても親切にいろいろ教えていただけます。また、先ほども書きましたがバディ制度があるのでバディの学生に頼ってみると良いと思います。

◆自由記述欄◆



以上